

高校入試

先日、受験直前の高校入試倍率が新聞発表されました。皆さんご存知の通り、市高の倍率は県内公立高校トップの2.35倍でした（毎年、たくさんの受験生に希望していただいて大変ありがたいです。母校がいつまでも人気校であって欲しいと心から思います）。

普段よく使う表現になりますが、寒い（厳しい）冬を経験すればするほど、春の暖かさを実感できるのではないのでしょうか？また、その春の暖かさが愛校心に結びついていくのではないか・・・そんな風に私は思っています。

野球部入部希望受験生の皆さん、最後の最後まで受験勉強を頑張ってください。

4月から共に生活できることを祈ります。
陰ながら応援しています。

葛藤

我が家のリビング、想像して下さい。

真冬ですが、こたつはありません。

人が横になれるソファに毛布があります。

我が家のネコ6匹にとって絶好のシチュエーションは、そこに妻が毛布を掛けて横になっている・・・という状態なのです（その上で寝る）。そこに私が横になっている時・・・毛布は安心できる匂いだが、横になっている奴が安心できない・・・そんな時の動きが見ていて本当に面白いのです。

また、報告させていただきます。

失礼しました。



徹底すること

学校内で起きているイヤな事件の報道が多いです。現場の人間としても気になります。

私自身、1校目に勤務した高校は大変でした。毎日何かしらありました。小規模校だったので、全教員でも30名程度だったと思います。色々な指導をするのは無理（すべてが中途半端になる）、できる指導を徹底してやる・・・そんな風に取り組んだ記憶があります。それが何だったか・・・実は校内において、暴力行為を完全になくす（学校が安全・安心であるようにする）。高校の場合、ルールを守らなければ、懲戒処分（謹慎など）を受ける形になりますが、私の1校目はこれらの行為（暴力的な行為）に対しての処分が他の行為に比べて明らかに重かったのです。

勉強が苦手な子に関してはどんどん送ってきて下さい。精一杯面倒を見ます。ただし、暴力行為に関わる者に対しては厳しく罰します。そのような姿勢で中学校訪問等を行うことが徹底されました。結果どのような形になったかという、あそこ、（荒れていた）昔と違って落ち着いているらしいよ・・・そんな評判が広まり、定員割れ等が少なくなっていたのです。

当時（約25年前）、私の勤務校は小規模校だったこともあり、比較的早い段階で統廃合の対象になる・・・という噂がたっていました、25年経った今でもしっかりと存在し続けています。

私が確信していること、それは学校において一番大事なことは生徒が「安全・安心」であること、現役部員によく話しますが、私は市高野球部員時代、先輩からイヤなことを言われたり、されたりした経験がまったくないのです（それは誇りであり、伝統にして欲しいことです）。

「安全・安心」、忘れないで欲しいです。